

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	入居者のレベル低下、職員の人員不足に伴い、職員一人に対する負担が大きくなってきている。	職員を増員し定着させる。	現職員がOJT学び、理解した上で実践できるようにする。	12ヶ月
2	1	理念の周知、共有ができていないことからケアにばらつきがみられる。	フロア理念を共有し実践につなげる。	フロアミーティングの際、理念を声に出し周知徹底を図る。また、実践できているかをミーティング内でもふり返り、話し合う機会を作り、共有していく。	6ヶ月
3	12 13	人員不足や職員が定着しない事で、現職員への負担も大きくモチベーションの維持ができない。	職員が生き生きと働く。	職員が意見や思いを言い合える場を作り、交流(親睦)を深め、会話を増やすとともにお互いの心情を知っていく。	12ヶ月
4	27 48 49	人員不足等の問題もあり職員の業務負担から入居者が有意義な時間を過ごせていない。	有意義な時間を過ごす。	業務の見直しとタブレットを使いこなせるようになり時間短縮につなげていくと同時に入居者と関わる時間を作る。レクリエーション等の質をあげる。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。